

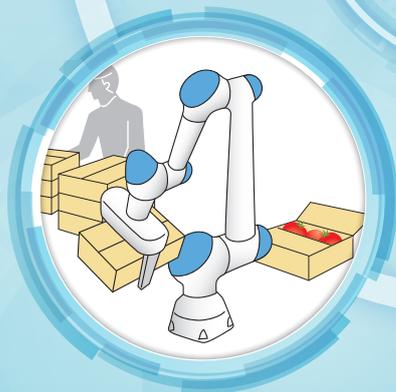
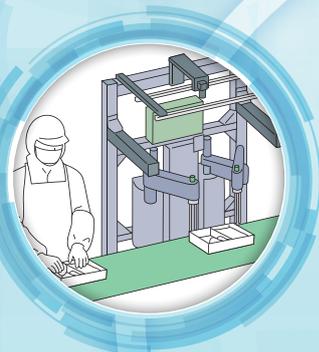
No. 323
SUMMER 2018

YASKAWA NEWSは
お客様と安川電機を結ぶPR情報誌です。

特集
p2

YASKAWAと描く、 これからの食づくり

生産性向上を加速する自動化ソリューション



p4 新製品

新型溶接電源 MOTOWELD-X500を開発
足首アシスト装置 CoCoroe AADを発売

p7 トピックス

安川電機みらい館で新展示を公開
陸上部公式サイトをリニューアル
MECHATROLINK協会 総会開催のご案内
本社事業所内にEMC試験施設を新設

p10 「アイキューブ メカトロニクス」を支える要素技術(第1回)
AIピッキング機能

p12 安川電機歴史館(第1回)

MOTOMAN-L10 受注第一号機

p13 展示会

「第20回 実装プロセステクノロジー展」出展案内
「第31回 インターフェックス ジャパン」出展案内
「第9回 太陽光発電システム施工展」出展報告

p15 コラム

陸上部NEWS

YASKAWAと描く、 これからの食づくり

生産性向上を加速する自動化ソリューション

食品製造プロセスのあらゆる分野の製品・技術・サービスが一堂に会する「FOOMA JAPAN 2018」に、今年も出展いたします。

食品製造業界は今、深刻な人手不足に加え、重作業や人的ミス、異物混入を含めた衛生管理など、様々な課題に直面しています。

こうした状況の中で、安川電機はこれまでお客様の声に耳を傾けてきた経験を生かし、皆様のパートナーとなるべく、食づくりの更なる生産性向上に向けた自動化の可能性をご提案します。

モーションコントロール技術やロボット技術を活用した各種デモ機の実演、さらに当社が新たに提唱するソリューションコンセプト“i³-Mechatronics”の紹介を通じて、自動化領域の広がりをご体感ください。



当社ブースの出展製品・ソリューションは特設サイトにてご覧いただけます。



アジア最大級「食の技術」の総合トレードショー

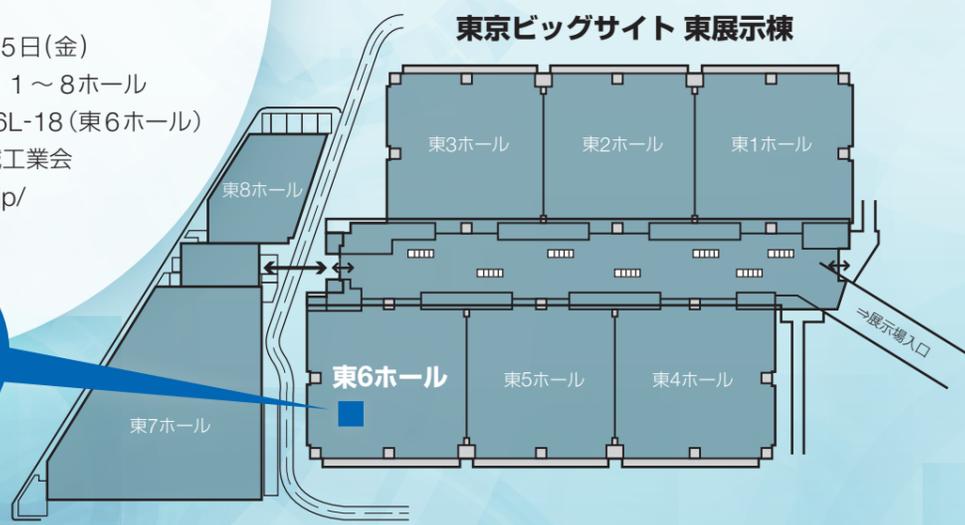
FOOMA JAPAN

INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION

2018 国際食品工業展

会期 2018年6月12日(火)～15日(金)
 会場 東京ビッグサイト 東展示棟 1～8ホール
 安川電機ブース小間番号：6L-18(東6ホール)
 主催者 一般社団法人 日本食品機械工業会
 URL <http://www.foomajapan.jp/>

安川電機ブース
6L-18
(東6ホール)



食品製造現場の課題に寄り添うソリューション

荷物を運ぶ作業が大変...

人協働ロボットシステム
人協働ロボットを活用し、開梱作業をサポートします。

i³-Mechatronics とは...
「モノ」のメカトロニクスナレッジを結集させた上で最先端のICTやIoT、AIといったデジタルデータソリューションを進化させることにより、これまでにできなかった「コト」を実現するソリューション・コンセプトです。

安川電機の新たな自動化ソリューションコンセプト
限界を超えていく、立体的ソリューションを。

i³-Mechatronics
アイキューブ メカトロニクス

人手不足や人的ミスを解消したい

トッピングロボットシステム
ゴロゴロ移動させ、工場の生産ラインに合わせた組み替えが可能。

検査を正確に自動化したい

生菌数試験ロボットシステム
人起因のコンタミや作業のバラツキを排除します。

お問い合わせ先：営業本部 食品市場営業部 食品市場マーケティング課 TEL: 03-5402-4546 FAX: 03-4502-4581

厚板の高速・高品質な溶接に最適な500A級新型アーク溶接電源 新型溶接電源 MOTOWELD-X500を開発

近年、自動車業界では、シャシ/フレームの高張力鋼板(ハイテン)の採用など、車体の軽量化・高剛性化に向けたさまざまな取り組みが進められています。そのため、溶接作業の現場では、高速な連続溶接が求められるとともに、溶接継手の精度低下への対応が課題とされています。

当社はこうしたニーズにお応えするため、高出力でありながら連続した溶接が可能で、かつスパッタの低減を実現する二次側遮断回路を採用したロボット用新型アーク溶接電源MOTOWELD-X500を開発しました。

主な用途 | 自動車シャシ/フレーム、足回り部品などのアーク溶接

高出力で連続した溶接が可能

MOTOWELD-X500は電流域500Aで定格使用率*1 60%、350Aでは定格使用率100%に対応しており、高出力で連続した溶接が可能です。高速な連続溶接が必要とされる自動車のシャシ/フレームといった厚板のアーク溶接ラインなどの高負荷な溶接工程にも適用可能です。また、厚板やハイテンの使用に伴うスプリングバックや部品形状の複雑化に起因する継手精度の低下対策として有効な高速GAP溶接*2も可能で、お客様の生産性向上に貢献します。

二次側遮断回路採用によるスパッタ低減

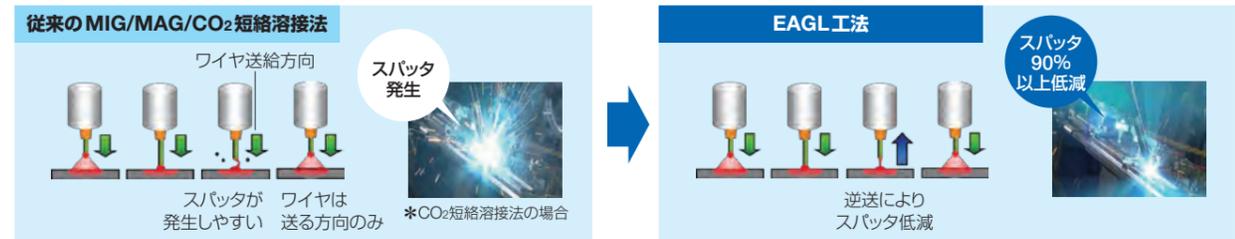
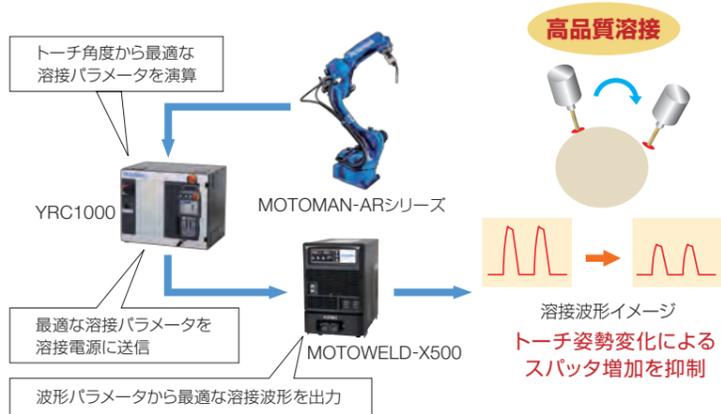
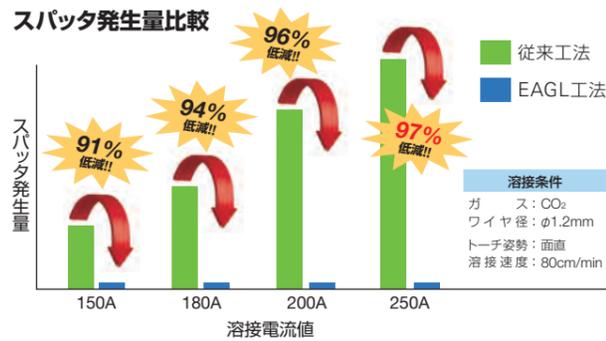
溶接電源MOTOWELD-X350でも採用した二次側遮断回路を搭載。短絡時のスパッタ発生を抑制します。

シンクロウェルディング機能*3やEAGL工法*4も適用可能

溶接電源MOTOWELD-X350をベースにしたアーク溶接パッケージMOTOPAC-WL300/-WL300+の特長を継承した、溶接電源MOTOWELD-X500用アーク溶接パッケージMOTOPAC-WL400/WL400+を準備しています。ご好評をいただいているシンクロウェルディング機能やEAGL工法も適用可能で、高品質溶接の市場ニーズにもお応えします。



- ※1 定格使用率：定格電流で使用した場合の全時間(休止時間含む)に対する通電時間の比率です。
- ※2 GAP溶接：GAP=継手隙間のあるワークの溶接に必要な幅広いビード形状を形成する溶接法です。
- ※3 シンクロウェルディング機能：ロボット動作と波形制御の完全同期により、溶接トーチ角度変化に応じて適切な溶接波形調整を自動で行い、スパッタ発生を抑制する機能です。
- ※4 EAGL工法：当社モータ制御技術によりスパッタの発生を極限まで抑制する技術です。



● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802

歩行時の足関節の底屈・背屈をアシスト 足首アシスト装置 CoCoroe AADを発売

当社は長期経営計画「2025年ビジョン」に掲げるヒューマロニクス事業領域確立に向けて、医療・福祉分野での製品開発を進めています。

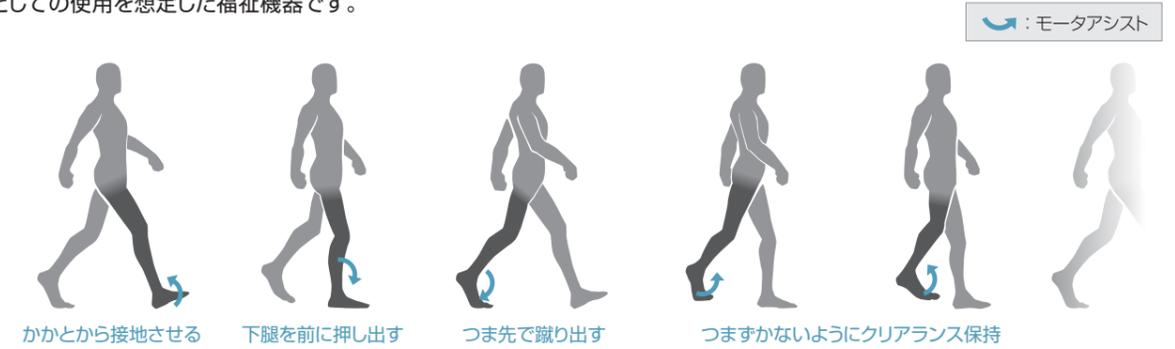
その一環として、足関節の運動機能の低下により歩行が困難な方が歩行練習を行うときに、足関節の動きをアシストする足首アシスト装置 CoCoroe AAD*(ココロエーエーディー)を開発し、実証評価モデルにて国内のリハビリテーション現場のニーズを吸い上げながら改良を行ってまいりました。このたび製品化が完了し、1月22日より一般販売を開始しました。

本装置は、歩行に求められる足首の底屈・背屈の動きをモータで補助することで、歩行練習を安全かつ長時間、反復して行うことができる装置です。対象者の身体機能・歩行状態に合わせて、歩行周期、底屈・背屈角度、アシスト力の設定が可能で、対象者は歩行時の足関節の動きを体感することができます。今まで介助者が行うことは難しかった足関節の動きをサポートしながら歩行練習を行うことが可能です。

なお、本装置は介護施設、病院等(屋内に限る)における、歩行練習としての使用を想定した福祉機器です。



※AAD：Ankle-Assist Deviceの頭文字から取った製品名です。



立脚期(足が接地している状態)の底背屈アシスト
立脚期には足裏センサの情報を元に足首の底背屈動作をモータでアシストし、かかとから接地させます。接地中には重心の前方移動を促すように、足が地面から離れる時には蹴り出しをアシストします。

遊脚期(足が接地していない状態)の背屈アシスト
モータのアシストによって、スムーズな振り出しが可能になります。

簡単設定

4つのボタンだけで、角度調整や速度設定など全ての操作が可能です。



簡単装着

短下肢装具を履いてストラップにて固定し、コントローラは腰部にベルトで締めるだけで簡単に装着完了(約2分)です。複雑なセンサの取付けは不要です。



● お問い合わせ先：営業本部 ヒューマロニクス営業部 ヒューマロニクス営業課 TEL: 03-5402-4663 FAX: 03-5402-4554

安川電機みらい館初の大型ロボット展示で、驚きとワクワクを 新展示「YASKAWA SPACE FACTORY」を公開

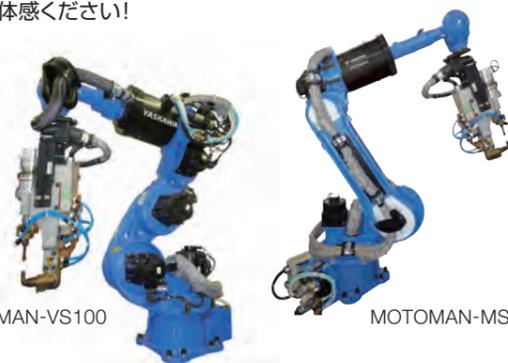
2015年6月、安川電機は創立100周年を記念して、北九州市の本社事業所を「ロボット村」としてリニューアルしました。コアコンテンツである展示施設「安川電機みらい館」は、これまでに約90,000名を超えるお客様にお越しいただいており、皆様にもづくりの楽しさ、すごさを伝えてきました。

このたび、安川電機みらい館に新たな展示が加わりました。その名も「YASKAWA SPACE FACTORY」。宇宙空間でのロボット活用をイメージした展示となっています。

時代は、誰もが宇宙を自由に行き来することのできる「未来」。地球へ帰還中の宇宙船の機体に、突如トラブルが発生してしまいます。宇宙工場「YASKAWA SPACE FACTORY」に緊急着陸した宇宙船を、当社製の産業用ロボットMOTOMANがリモートレーザー溶接で修理し、再び広い宇宙へと送り出します。

この展示では、自動車工場などで使われる大型産業用ロボットMOTOMAN-VS100とMOTOMAN-MS80WIIを使用しています。限られたスペースの中で皆様に「驚き」と「ワクワク」をお届けするための工夫を盛り込んでいます。特に、7つの軸（関節）を持つMOTOMAN-VS100によるダイナミックな動きは必見です。

壮大な「宇宙」を舞台にしたロボットの可能性を、ぜひ安川電機みらい館でご体感ください！



MOTOMAN-VS100

MOTOMAN-MS80WII

安川電機みらい館の見学は
公式サイトから
お申し込みください。



※一般のお客様の見学は10名以上の団体、予約制となります。

安川電機みらい館 で検索!!

安川電機みらい館 スタッフ おすすめの展示



ミニカー組立

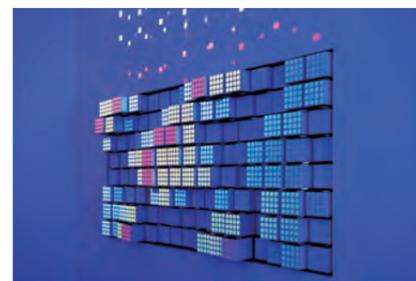
開館当初から根強い人気を誇る展示「ミニカー組立」。MotoMINI7台が協調し、わずか6秒で1台のミニカーを組み立てます。

シャカシャカとすばやく動く業界最小・最軽量のロボットたちによるものづくり、お見逃しなく！



メカトロニクスウォール

安川電機の原点であるモータ技術を駆使した「メカトロニクスウォール」。テクノロジーとアートが織りなす幻想的な世界に、実演後にはお客様から拍手が起ることも！



● お問い合わせ先：広報・IR部 本社広報推進課 TEL: 093-588-3076 FAX: 093-645-8831

スマートフォン・タブレット端末にも対応、より情報を探しやすく 陸上部公式サイトをリニューアル

4月2日、安川電機陸上部の公式サイトをリニューアルいたしました。

新サイトはスマートフォンやタブレット端末にも対応したレイアウトになり、大会結果やスケジュールがより探しやすくなりました。「メンバー紹介」には選手のプロフィールを掲載しています。

また、「陸上部コラム」では注目レースなどの最新の情報をタイムリーに発信していきます。

新しくなった陸上部公式サイトを、ぜひご覧ください！

陸上部コラム



メンバー紹介



安川電機陸上部公式サイト
<https://sports.yaskawa.co.jp/track-field/>



安川電機陸上部 公式サイトトップページ

● お問い合わせ先：広報・IR部 TEL: 03-5402-4564 FAX: 03-5402-4580

発足から15周年、アジアNo.1のオープンネットワーク団体 MECHATROLINK協会 総会開催のご案内

安川電機が開発・製品化したMECHATROLINKを世界に普及させるために、2003年に発足し2005年に設立されたMECHATROLINK協会は、製品開発メンバー及びユーザーで構成される組織です。

MECHATROLINK協会では、6月8日(金)に2018年度の総会、講演会並びに懇親会を開催します。今年は、15周年記念として、イベントも企画しています。

協会会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。(ご参加には、協会ホームページから事前登録が必要です。)

MECHATROLINK協会 総会

- MECHATROLINK協会 活動報告
- MECHATROLINK新製品紹介
- 新技術紹介(MECHATROLINK-4、Σ-LINKII)

特別講演

- ローム株式会社様
- 株式会社クロスコンパス様

懇親会

- メンバー間交流
- 15周年記念イベント企画



日時 2018年6月8日(金)13:00~18:50
会場 秋葉原UDX 6F「UDXカンファレンス」
(東京都千代田区外神田4-14-1)



JR秋葉原駅(電気街口)より徒歩3分
東京メトロ銀座線 末広町駅(1番出口)より徒歩3分
つくばエクスプレス 秋葉原駅(A1出口)より徒歩3分
東京メトロ日比谷線 秋葉原駅(3番出口)より徒歩4分



前回総会の様子



● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 応用技術部 事業パートナー拡大課 TEL: 04-2962-6359 FAX: 04-2966-0746

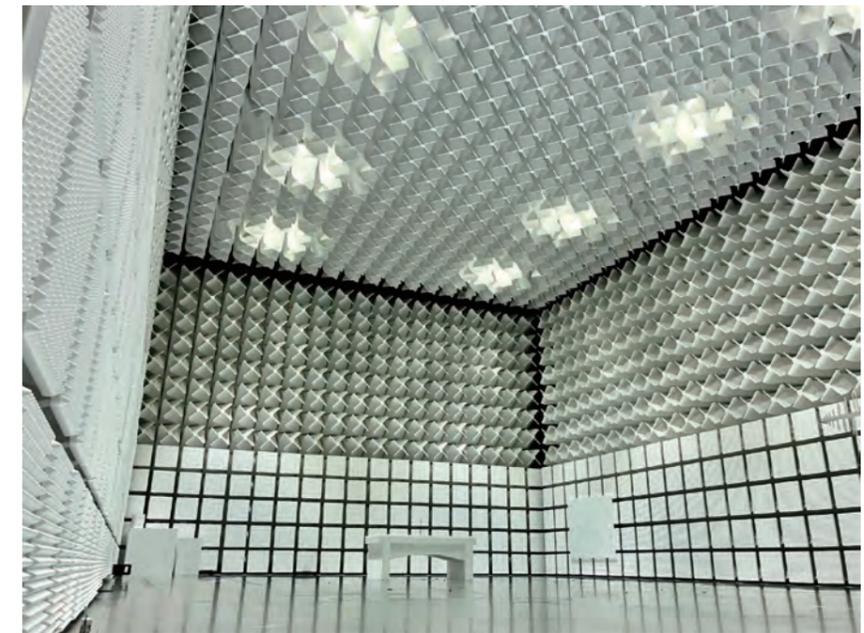
試験から認定取得まで一貫して行うことが可能に 本社事業所内にEMC試験施設を新設

安川電機は今年3月、福岡県北九州市の本社事業所内にEMC*試験施設を新設し、同施設がテュフ ラインランド ジャパン株式会社(以下、テュフ ラインランド)からEMC任命ラボの認定を受けました。

社会全体に広く使われている様々な電気・電子機器は、その機器が電磁(ノイズ)現象によって周辺の機器やシステム、ひいては社会環境全般に影響を及ぼさないEMCへの対応がグローバルで求められています。当社は、長期経営計画「2025年ビジョン」において、「コア技術の進化とオープンイノベーション」の融合により、社会に対し新たな価値を提供することを掲げ、

グローバルで競争力をもつサーボ・インバータそしてロボットを中心としたメカトロニクス製品の開発を行っている中で、EMCへの対応も積極的に取り組んでいます。

このたび新設したEMC試験施設は、従来外部に委託していたEMCに関する試験を全て内部に取り込み、様々な試験データ・ノウハウの蓄積ができます。また、テュフ ラインランドからの任命ラボ認定によって、試験から認証取得までを一貫して行うことが可能となります。よって、製品の開発期間の短縮だけでなく、さらに安全・安心なメカトロニクス製品をお客様にスピーディーに供給することができます。



EMC試験施設の内観

施設の概要

- 名称 株式会社安川電機 電波暗室
- 所在地 北九州市八幡西区 本社事業所内
- 述べ床面積 900㎡
- TÜV認定ラボ A2LA認定(ISO/IEC 17025)

※EMC: Electromagnetic Compatibilityの略。
日本語では電磁両立性、電磁環境両立性とも呼ばれる。
自身の電気・電子機器が動作することで発する電磁妨害波が、他の機器の動作、システムに対しても悪影響を与えず、また他の機器、システムからの電磁妨害を受けても自身が影響なく正常動作の継続を確保すること。

● お問い合わせ先：広報・IR部 TEL: 03-5402-4564 FAX: 03-5402-4580

このコーナーでは、安川電機が提唱する新たなソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」を支える様々な要素技術を連載で解説していきます。

第1回は、ロボットによる対象物の認識・把持動作の生成・多様なつかみ方を自ら学習する「AIピッキング機能」について紹介いたします。

開発のねらい

近年、生産ライン自動化ニーズの多様化により、ロボットに求められる作業のレベルが高度化しています。従来のバラ積み部品のピッキングシステムでは、対象物ごとに多様な把持動作を教示する必要があり、ユーザーにとって大きな負担となっています。また、把持を確実に実行するために、対象物に合わせてグリッパ（ロボットアームの先端に取り付けて把持動作を行う器具）を専用設計し用意する必要があり、システム導入への障壁の一つとなっていました。

当社では長期経営計画「2025年ビジョン」で、新しい自動化のソリューションを提供することを掲げており、これまでのソリューションにデジタルデータのマネジメントを加えた、新たなコンセプト「i³-Mechatronics」を始動しています。開発したAIピッキング機能は、このコンセプトを具現化するソリューション提供の一環としており、当社のコア技術であるロボット技術と、AI技術を組み合わせることで、バラ積みピッキングの高度化による自動化システム導入の簡易化、生産性の向上を実現します。

なお、このAIピッキング機能は開発中であり、今後より多くの対象物や環境での実証を蓄積し、把持効率の向上や対象物の拡大などに取り組んでいきます。

「AI・人工知能EXPO」で展示したAIピッキングのデモ機

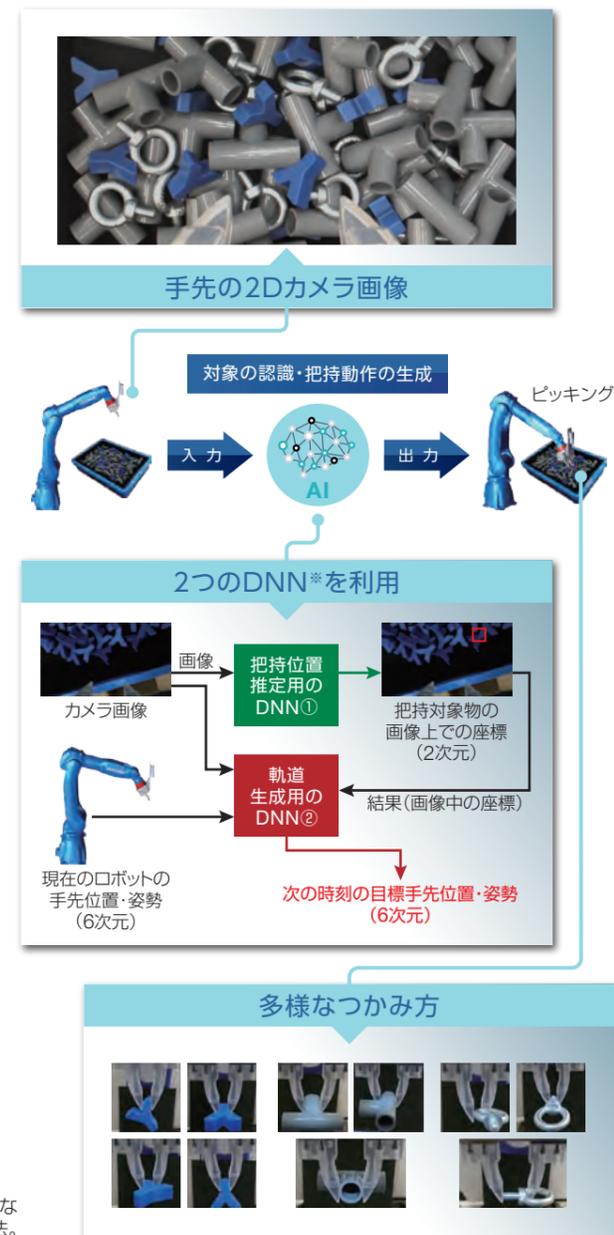


※DNN：ディープニューラルネットワーク。人間の脳の生物学的な仕組みから着想を得たアルゴリズムを用いた機械学習手法。

AIピッキングの概要

本機能は、ロボットアームの先端に取り付けたカメラからの画像情報をコントローラに入力し、AI（ディープラーニング）を用いてロボット自らリアルタイムに動作を学習・生成するため、教示が不要です。把持動作中も取得した画像情報をもとに最適な把持位置を解析しながらピッキングを実行するので、対象物の形状や一定の把持位置・方向に合わせたグリッパの設計が不要です。

さらに同じグリッパを用いて多数の対象物を学習することで、単一グリッパで多数の物品をピッキングすることができるため、効率的なピッキングシステムが構築可能です。



AIピッキングの3つの特長

AIを物品認識と把持動作に応用した新ピッキングシステム「AIピッキング」には、以下のような3つの特長があります。

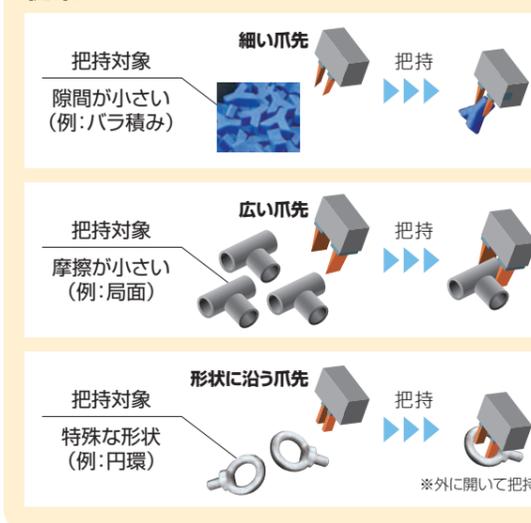
Easy To Use(把持動作のティーチングレス)

AIにより対象物の認識や把持動作を自動で学習するため教示が不要です。学習したAIはロボットに依存しないため、他のロボットに移植することができ、教示作業を省略できます。

単一グリッパによる把持の多様性

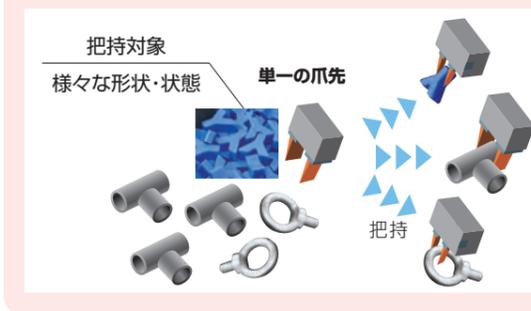
同じグリッパで学習を行うことで、AIが多様なつかみ方を自動で獲得することができるため、単一グリッパで多種の対象物に対応可能です。(グリッパの交換がなくなります。)

従来 把持対象に合わせてグリッパを用意



AIピッキング

つかみやすい把持位置を学習し、単一のグリッパで多様な物体を把持



2Dカメラによるセンサ低コスト化

ワークの多様な姿勢を安価な2Dカメラ画像で学習するため、低コストで実現可能です。

AIソリューション開発の子会社を設立

当社は今年3月1日、製造・産業用ロボット向けのAIソリューション開発などを手掛ける新会社「エイアイキューブ（以下、AI³）」を設立しました。また、この新会社AI³が、人工知能(AI)のアルゴリズム開発やコンサルティングを手掛けるAIベンチャー企業の株式会社クロスコンパス（以下、XC社）とAIソリューション開発の加速を目的に、戦略的提携を行いました。

新会社AI³は、当社のサーボ・インバータそしてロボットを中心とした製品を介して、ものづくりの現場で発生するビッグデータを集めることができる強みを生かし、これらのビッグデータを活用するAI技術の開発を加速させます。ものづくりの現場において、お客様が抱える様々な課題の解決に向け、AI技術を活用した新たなソリューションを提供することを目指しています。特に、外観検査向けの画像処理、故障予知向けの時系列解析、そしてタクトタイム短縮のための最適化といった生産効率化に直結するソリューション開発に注力していきます。

XC社は人工知能に特化したベンチャー企業で、AIモジュールを簡単に生成し現場で活用することができるプラットフォーム「Manufacturing-IX」を提供するなど、製造業分野のAI開発では高い評価を受けています。XC社との戦略的提携により、製造現場でのAI導入に向けた開発スピードを加速させる技術協力のほか、業務委託などを含めた連携を強化し、製造業における異常検知をはじめとした各種ソリューションの開発を進めていきます。なお、XC社と当社は2017年10月に資本提携を行っています。



会社名 株式会社エイアイキューブ
 設立 2018年3月
 所在地 東京都中央区日本橋堀留町二丁目3番14号 堀留THビル8階
 事業内容 製造・産業用ロボット向けAIソリューション開発、エンジニアリング、営業、教育、実装、保守・管理およびコンサルティング

安川電機歴史館

YASKAWA History Museum

安川電機歴史館の展示品を中心に、製品・技術の歴史的意義や創業時から受け継がれている安川電機の「ものづくりへの志」を紹介します。

— 第1回 —

MOTOMAN-L10 受注第一号機

安川電機歴史館について

1954年竣工の旧本社事務所の講堂を保存・活用した安川電機歴史館では、当社がこれまでに開発してきた製品などを展示、ご紹介しています。

館内には、安川電機のものづくりの原点となるモータの受注第一号機(1917年)や国内初の全電気式産業用ロボット「MOTOMAN-L10」の受注第一号機(1977年)などがあります。本連載では歴史館に展示されている当社製品とそれに関わる歴史、価値をご紹介します。



国内初全電気式産業用ロボット「MOTOMAN-L10」受注第一号機

「MOTOMAN-L10」は当社が1977(昭和52)年に日本国内で初めて開発、販売した全電気式産業用ロボットです。展示機はアーク溶接用途として国内の自動車部品メーカーに最初に納入された4台のうちの1台です。自動車製造ラインなどで活躍している産業用ロボットの特長である垂直多関節型、すべての駆動軸がモータで動作する、ティーチングプレイバック方式といった機能を有しており、現在の産業用ロボットの先駆けとなったものです。

当社では1972年の開発着手から、1974年の初代「MOTOMAN(モートマン)」、1977年の「MOTOMAN-L10」とロボット開発、販売を行い、現在では累計出荷台数が36万台以上とトップメーカーの地位を築いています。この赤いボディのMOTOMAN-L10と現在のロボットを見比べると、構造や外形がどのように進化したかなど興味深くご覧いただけると思います。

この展示機は2009年に国立科学博物館の「重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)」に登録され、さらに2015年には日本機械学会が認定する「機械遺産」に認定されました。「重要科学技術史資料」は国立科学博物館が科学技術を担ってきた先人たちの経験を次世代に継承していくことを目的とした登録制度で、これまで240件が登録

されています。日本機械学会の「機械遺産」は歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的とした認定制度で、これまで90件が認定されています。

いずれも九州で数件という貴重な技術の遺産です。多くの皆様にご覧いただけるよう、歴史館で展示してまいります。



安川電機歴史館の見学は
公式サイトから
お申し込みください。



※一般のお客様の見学は10名以上の団体、予約制となります。

実装設備メーカーが一堂に会する実装技術専門展示会 「第20回 実装プロセステクノロジー展」に出展します

6月6日(水)～8日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて電子機器2018トータルソリューション展(6展示会の合同開催)が開催されます。そのうち、当社は世界のエレクトロニクス業界発展に大きく貢献している最新の実装プロセス技術の展示会「JISSO PROTEC 2018 第20回実装プロセステクノロジー展」に出展いたします。

会 期 2018年6月6日(水)～8日(金) 10:00～17:00
会 場 東京ビッグサイト 東4～8ホール
安川電機ブース小間番号: 東4ホール 4E-14
主 催 者 一般社団法人 日本ロボット工業会
U R L <https://www.jara.jp/jissoprotec2018/>

JPCA SHOW 基調講演のご案内

講 演 者 株式会社 安川電機 執行役員 ロボット事業部長 小川 昌寛
日 時 2018年6月6日(水) 11:30～12:15
会 場 東京ビッグサイト 東7ホール内 基調講演会場
テ ー マ ロボットの進化と新たな産業自動化への提案

ブースでは当社の新たなソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」に関する展示品を中心にAIやIoTなどのテクノロジーを応用した、データの見える化や高効率化・品質向上につながるソリューションを提案いたします。

ぜひ安川電機ブースへお越しいただき、当社のソリューションの数々をご覧ください。



● お問い合わせ先: ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802

医薬品・化粧品・洗剤の研究開発・製造技術に関する国際展示会 「第31回 インターフェックス ジャパン」に出展します

6月27日(水)～29日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて医薬品・化粧品・洗剤を製造・研究開発するためのあらゆる機器・システム・技術が一堂に出展する世界有数の専門技術展「第31回 インターフェックスジャパン」が開催されます。

同展示会は、出展社数1,500社以上と本業界日本最大で、会場には全国から医療・化粧品分野の専門家が来場予定です。

当社ブースでは、これまで人間にしかできないと思われていた作業を人間以上の精度と再現性、清潔性をもって、ロボットにより自動化可能であることを実機にてデモンストレーションいたし

ます。産業用ロボットの技術を生かし、バイオ革命に貢献する当社製品にご注目ください。

前回のインターフェックス ジャパンの様子



会 期 2018年6月27日(水)～29日(金)
10:00～18:00(最終日は17:00まで)
会 場 東京ビッグサイト 東1～8ホール、西1・2ホール
安川電機ブース小間番号: 東5ホール E32-24
主 催 者 リード エグジビション ジャパン 株式会社
U R L <http://www.interphex.jp>

● お問い合わせ先: ロボット事業部 バイオメディカルロボット部 バイオメディカル推進課 TEL: 03-5402-4560 FAX: 03-54024581

太陽光発電システムを構成する製品・技術が一堂に会する商談展 「第9回 太陽光発電システム施工展」出展報告

2月28日(水)～3月2日(金)の3日間、東京ビッグサイトにてリードエグジジションジャパン株式会社主催による世界最大級の再生可能エネルギーに関する総合イベント「スマートエネルギーWeek 2018」が開催されました。安川電機は同時開催された展示会の1つである「第9回太陽光発電システム施工展」に出展いたしました。

当社ブースでは、太陽光発電用パワーコンディショナEnewell-SOL P2シリーズ(10kW/9.9kW、単相/三相)、Enewell-SOL P2H(9.9kW、三相絶縁型)の展示を行いました。合わせて開発中のグローバル市場向け新シリーズの参考出展も行いました。Enewell-SOL P2シリーズは市場の変化に合わせた新アプリケーションの提案を中心に、お客様から興味を示して頂くことができました。また、今回の展示の目玉でもあった新シリーズについてもお客様の関心度は高く、機能やサイズ感に

ご好評を頂くことができました。既存製品および新シリーズともに既に引き合いをいただいておりますので、お客様にご満足頂けるようしっかりと対応して参ります。

今回、太陽光発電用パワーコンディショナ以外にも小形風力発電用パワーコンディショナEnewell-WIN、小容量発電用制御装置Enewell-GD、Enewell-GC R2の展示など、様々なアプリケーションに適用できる製品の展示も行い、当社が取り組む環境エネルギー事業の幅広さにもご注目頂けたかと思えます。

展示会には昨年を超える延べ64,000名の来場者が訪れ、当社ブースには2,500名以上のお客様にお立ち寄りいただき、大変賑わいと活気のある展示会となりました。

日々、目まぐるしく変化する再生可能エネルギー市場、お客様のニーズに合わせた製品・ソリューションを提案する安川電機の環境エネルギー事業にこれからも是非ご注目ください。



太陽光発電用パワーコンディショナ Enewell-SOL P2シリーズ
太陽光発電用パワーコンディショナ Enewell-SOL P2H
小形風力発電用パワーコンディショナ Enewell-WIN



● お問い合わせ先：システムエンジニアリング事業部 環境エネルギーシステム事業統括部 環境エネルギー営業部 TEL: 0930-23-5079 FAX: 0930-23-5249



個人種目報告

選手詳細情報は
陸上部公式サイトで公開中!
<https://sports.yaskawa.co.jp/track-field/>



チームとして最大の目標であったニューイヤー駅伝が終わり、選手は冬季シーズンの成果を発揮すべく、個人種目に多数出場しました。

1月21日に開催された今シーズン最後の駅伝となる都道府県対抗男子駅伝には、福岡県代表として高橋尚弥選手が最終7区に出場。高橋選手はタスキを受け取った時点で10位だった順位をぐんぐん押し上げ4位でフィニッシュ。強豪がひしめくこの区間で、区間順位も3位と奮闘し、福岡県チームの上位入賞に大きく貢献しました。

1月28日に開催された大阪ハーフマラソンには、中本健太郎選手が招待選手として出場。中本選手は他実業団の有力選手を相手に堂々たるレースを展開しました。1位と僅差の2位でしたが、後続のスピードある若手選手に競り勝ち見事な走りでした。また、この大会はインターネットでライブ中継され、中本選手の健脚ぶりを全国の皆さんに見てもらえることができました。

2月4日には、前回中本選手優勝の記憶も新しい別府大分毎日

マラソンが開催されました。雪まじりの強風が吹き荒れる中、久保田大貴選手、黒木文太選手が出場。両選手とも中間点までは先頭集団で奮闘しましたが、後半で後れを取り、満足な結果を出すことができませんでした。

翌週の2月11日に開催された全日本実業団ハーフマラソンには、高橋尚弥選手、古賀淳紫選手が出場。高橋選手は熾烈なトップ争いを展開。ラストの直線で勝負を仕掛け、日本トップクラスの選手達を相手に5位でフィニッシュ。自己記録も更新し、チームの若手エースとして素晴らしい走りを見せてくれました。

3月4日に開催されたロードシーズン最終レースとなる玉名ハーフマラソンには5名の選手が出場。気温が上がリ、少し暑さを感じる中でのレースとなりましたが、2月にマラソンを走ったばかりの久保田大貴選手が先頭でレースを進め、疲れを感じさせないタフな走りですべて9位と健闘しました。

今後は、トラックレースへと舞台を移していきます。引き続き当社陸上部の応援をよろしくお願ひします。

選手コメント



中本 健太郎

4月のポストンマラソンに向けた調整の位置付けで、大阪ハーフマラソン(1/28)に出場しましたが、優勝こそは逃したものの、ハーフマラソンでは8年ぶりとなる自己記録更新の走りが出来ました。この勢いで、マラソンでも自己記録更新を目指して頑張ります。



高橋 尚弥

都道府県対抗駅伝では、駆け引きがあった中でのレースで6人を抜き、入賞できたのは大きな自信となりました。しかし、続く全日本実業団ハーフでは残念ながら1秒差で世界ハーフへの出場権を逃してしまいました。日本のトップレベルで戦えるだけの安定感や速さは身につけてきているので、今後はひとつひとつの試合を大切に、勝負どころで勝てる試合合を磨いていきたいと思ひます。



高橋尚弥選手(全国都道府県対抗男子駅伝競走大会)

◆ 18年1月～3月の主な戦績

日程	大会名	成績
1月 21日	天皇盃 第23回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	高橋尚弥選手(福岡県代表) 7区：区間3位、チーム：4位
1月 28日	2018大阪ハーフマラソン	中本健太郎選手2位
2月 4日	第67回 別府大分毎日マラソン大会	久保田大貴選手32位、黒木文太選手156位
2月 11日	第58回 唐津10マイルロードレース大会	井上拳太郎選手27位、高橋達也選手37位
2月 11日	第46回 全日本実業団ハーフマラソン大会	高橋尚弥選手5位、古賀淳紫選手69位
2月 24日	第101回 日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走	井上拳太郎選手28位(シニア男子10km)
3月 4日	第69回 金栗杯玉名ハーフマラソン大会	久保田大貴選手9位、井上拳太郎選手22位、古賀淳紫選手29位、高橋達也選手34位、渡邊一磨選手44位

YASKAWA

あなたの“答え”がここにある。

安川インバータ 新シリーズ第一弾 GA700

安川電機が誇る高性能インバータの系譜を受け継いだGA700。
新モータ制御による高効率化、周辺機器を取り込んだシステムのコストダウン、
世界中どこでも使える優れた環境適合性で、
お客様の機械を画期的に変える最適な“答え”をお届けします。



**トータル
コスト
削減**

周辺機器の取り込み

周辺機器の機能をインバータへ取り込み、
省スペース・省配線・省電力を実現。投資
を最小にします。



省エネ

第4の省エネ モータ効率の向上

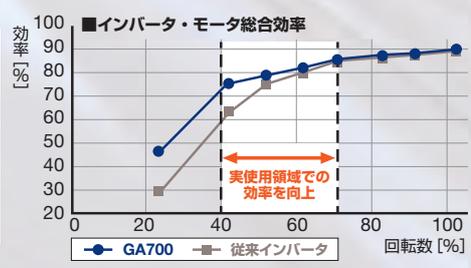
モータの消費電力を監視しながら消費電力が小さくなるよう制御する新機能により、
モータの効率を向上します。

削減効果(年間)

- 年間節約電力量
約11,000 kWh
- 年間CO₂削減効果
約4.5t

条件

用途	空調ファン(高効率モータIE3適用) 7.5 kW
回転数(負荷率)	40% 台数 10台
年間稼働日数	24時間・365日
CO ₂ 係数	0.412 (kg/kWh)



(注)省エネ効果は、モータの特性や性能によって異なります。

株式会社 安川電機

インバータ事業部 グローバル販売促進グループ TEL 0930-25-2548 FAX 0930-25-3431
【オフィシャルサイト】 www.yaskawa.co.jp 【製品・技術情報サイト】 www.e-mechatronics.com

YASKAWA NEWS

No.323

発行日：2018年5月21日
発行所：株式会社 安川電機
〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー8階 TEL: 03-5402-4665
編集責任者：営業本部 業務改革部長 濱地信市 制作：安川オピアス株式会社

次号 2018年9月 発行予定 既刊号はオフィシャルサイトで公開中

